

罪と神の王国から排除された罪人、そして背教における彼らの 役割に関する詳細な分析

この文書は、背教に関する包括的な研究の第 10 章（神の国に入らない者たち）と第 8 章（コリント人への手紙第一 5 章とマタイによる福音書 15～16 章からの洞察）に列挙されている罪と罪人の分類について詳しく説明しています。聖書に記されているこれらの罪と罪人は、神の国から排除され、背教（信仰から離れること）につながる行動や霊的な状態と関連しています。それぞれの罪は、意味を明確にするために、ギリシャ語（新約聖書）とヘブライ語（旧約聖書、該当する場合）の原語を用いて分析され、すべての聖句は英語標準訳（ESV）を用いて聖書の文脈で検証されています。この分析では、それぞれの罪の性質、背教との関連性、そしてそのような行動に影響を与える可能性のある霊的な力（例えば、誤りの霊）を探り、これらの罪を防ぐ上で真理の霊が重要であることを強調しています。

1. はじめに

聖書は、特定の罪や悔い改めない罪人は神の国を受け継ぐことができないと警告しており、これは背教、すなわち神への信仰から離れるという反逆や怠慢の状態を反映しています。原文の第 10 節では、ヨハネの黙示録 21 章 8 節、マタイによる福音書 7 章 21-23 節、コリントの信徒への手紙一 6 章 9-10 節、ガラテヤの信徒への手紙 5 章 19-21 節を引用し、神の国から除外される特定の罪と罪人のカテゴリーを列挙しています。第 8 節では、コリントの信徒への手紙一 5 章とマタイによる福音書 15-16 章を引用し、教会を墮落させ背教へと導く性的不道徳、貪欲、偽善といった罪を強調しています。この文書は、これらの罪と罪人について、原語を用いてその意味と霊的墮落における役割を詳細に考察しています。この分析は、服従と忍耐を促す真理の霊と、欺瞞と反逆を助長し、背教へと導く誤りの霊との対比を強調している。

2. 第 10 章「王国に入らない者たち」より、罪と罪人

ヨハネの黙示録 21:8

「臆病な者、不信仰な者、忌まわしい者、殺人者、淫行を行う者、魔術を行う者、偶像礼拝者、そしてすべての偽り者、彼らの受けるべき報いは、火と硫黄で燃える湖の中である」(ESV)。

分析：

• 卑怯者 (δειλοῖς, デイロワ):

- ギリシャ語の意味：deilos は「恐れる」または「臆病な」という意味で、試練に直面した際の勇気や信仰の欠如を暗示しています。ヨハネの黙示録 21:8 では、迫害や苦難を恐れて信仰から後退する人々を指しており、ヘブライ人への手紙 10:38-39 「わたしの義人は信仰によって生きる。もし彼が後退するなら、わたしの魂は彼を喜ばない」(ESV 訳) と一致します。
- 背教との関連性：臆病さは忍耐力の欠如を反映しており、これは背教の特徴の一つです(ヘブライ人への手紙 3 章 12 節)。誤りの霊は恐怖心につけ込み、信仰の放棄へと導きます(マルコによる福音書 4 章 17 節)。一方、真理の霊は大胆さを力づけます(テモテへの手紙第二 1 章 7 節)。

• フェイスレス (ἀπίστοις, アピストワ):

- ギリシャ語の意味：apistos (不信仰な者、不忠実な者) に由来し、神を拒絶する者、あるいは神への信仰を持たない者を指す。ヤコブの手紙 2 章 19 節の pistis (信仰) とは対照的で、そこでは悪霊は「信じる」(pisteuō) が、救いをもたらす信仰を持たないとされている。
- 背教との関連：不信仰な者はキリストへの信頼を捨てる。これは背教の特徴である(ルカ 8:13)。誤りの霊は不信仰を助長する(1 テモテ 4:1) 一方、真理の霊は信仰を堅固にする(1 ヨハネ 4:2)。

• 忌まわしいもの (ἐβδελυγμένοις, ebdeplygmenois):

- ギリシャ語の意味：bdelyssomai から派生したもので、「忌まわしい」「嫌悪すべき」という意味で、道徳的または霊的な不純さ(例えば、レビ記 18:22 の偶像崇拜、ヘブライ語 to'evah) と関連付けられることが多い。ヨハネの黙示録 21:8 では、極めて重大な罪によって汚された人々を描写している。
- 背教との関連性：忌まわしい行いは、イスラエルの偶像崇拜(メシュヴァ、エレミヤ書 3:6) に似た、神から離れた心の表れである。誤りの霊はそのような不純さを助長する(ユダの手紙 1:4) 一方、真理の霊は清める(エフェソの信徒への手紙 5:26)。

- 殺人者 (φονεῦσιν、フォンシン):
 - ギリシャ語の意味：phoneus から派生したもので、「殺人者」または不当に人を殺す者を意味し、憎しみや悪意に根ざしている（ヨハネの手紙一 3:15：「兄弟を憎む者はみな人殺しである」参照）。
 - 背教との関連性：殺人は、愛せよという神の命令（ヨハネ 13:34）を拒否する行為であり、背教の無法行為（マタイ 24:12）と一致する。誤りの霊は憎しみを煽り（ガラテヤ 5:20）、真理の霊は愛を育む（ガラテヤ 5:22）。
- 性的に不道徳 (πόρνοις、ポルノワ):
 - ギリシャ語の意味：ポルノス (pornos) に由来し、姦淫、不倫、その他の不法な性行為を含む性的不道徳にふける者を意味します。これは、神が定めた性に関する規範（コリント人への手紙第一 6:18）に反する行為全般を指します。
 - 背教との関連性：性的不道徳は、世俗的な欲望に心を奪われていることを反映しており（第一ヨハネ 2:16）、背教へとつながります（第一コリント 5:11）。誤りの霊は官能を助長する一方（ユダ 1:4）、真理の霊は聖さを求めます（第一テサロニケ 4:3）。
- 魔術師 (φαρμακοῖς、ファルマコイ):
 - ギリシャ語の意味：pharmakos から派生したもので、魔術や呪術を行う者、または魔法の目的で薬物を使用する者を意味し、しばしば偶像崇拜や悪魔の影響と関連付けられる（申命記 18:10-12 参照、ヘブライ語の qosem は占いを意味する）。
 - 背教との関連性：魔術は悪魔の力に頼る行為であり、背教へと導く偶像崇拜の一形態です（テモテへの手紙第一 4:1）。このような行為は誤りの霊によって促される一方、真理の霊は真の礼拝へと導きます（ヨハネによる福音書 4:24）。
- 偶像崇拜者 (εἰδωλολάτραις, eidōlolātrais):
 - ギリシャ語の意味：eidōlōlātrēs（偶像崇拜者）に由来し、神よりも他の何かを崇拜すること全般を指す（コロサイ人への手紙 3 章 5 節では、貪欲が偶像崇拜と呼ばれている）。
 - 背教との関連性：偶像崇拜は、イスラエルのメシュヴァ（エレミヤ書 3 章 6 節）を彷彿とさせ、神から離れて偽りの神々を崇拜するという、背教の根本原因の一つです。誤謬の霊は偶像崇拜を助長し（第一ヨハネ 5 章 21 節）、真理の霊はキリストへの礼拝へと導きます（ヨハネ 16 章 14 節）。

- 嘘つき (ψευδέειν、疑似シン):

- ギリシャ語の意味：pseudēs（偽りの、欺瞞的な）に由来し、習慣的に嘘をついたり人を欺いたりする人を指す（ヨハネ 8:44 参照。そこではサタンは「嘘の父」と呼ばれている）。
- 背教との関連性：嘘をつくことは真理の拒絶を反映し、誤りの霊（第一ヨハネ 4:6）に同調し、背教（第二テサロニケ 2:3）へと導きます。真理の霊は正直さを支えます（エペソ 4:25）。

マタイによる福音書 7:21-23

「わたしに向かって『主よ、主よ』と言う者がみな天の御国に入るのではなく、わたしの父の御心を行う者だけが入るのです。…そのとき、わたしは彼らにこう言います。『わたしはあなたがたを全く知らない。不法を行う者たちよ、わたしから離れ去れ』」（ESV）。

分析：

- 無法労働者 (ἐργαζόμενοι τὴν ἀνομίαν, ergazomenoi tēn anomian):

- ギリシャ語の意味：ergazomai（働く）と anomia（不法、神の律法違反）から成り、信仰を公言しながらも不従順な生活を送る人々、偽善や誤った教えによって特徴づけられる人々を表す（マタイ 15:8 参照）。
- 背教との関連：不法行為は神の意志の拒絶を反映しており、背教の反逆（背教、テサロニケ第二 2:3）に似ています。誤りの霊は不法行為を助長し（ユダ 1:4）、真理の霊は従順を可能にします（ヨハネ 16:13）。

コリント人への手紙第一 6:9-10

「淫行を行う者、偶像礼拝者、姦淫を行う者、男色を行う者、盗人、貪欲な者、酒に酔う者、人を中傷する者、詐欺師は、神の国を受け継ぐことはできない。」（ESV 訳）

分析：

- 性的に不道德な (πόρνοι, pornois)：上記の黙示録 21 章 8 節を参照。
- 偶像崇拜者 (εἰδωλόλατραι, eidōlolātrai): 上記の黙示録 21:8 を参照。
- 姦通者 (μοιχοί, moichoi):
 - ギリシャ語の意味：moichos から派生したもので、姦淫を犯し、結婚の契約を破る者を意味する（出エジプト記 20:14、ヘブライ語 na'aph 参照）。

- 背教との関連性：姦淫は不貞を反映しており、神に対する霊的な不貞（メシュヴァ、エレミヤ書 3:6）を映し出している。誤りの霊は情欲を助長し（第一ヨハネ 2:16）、真理の霊は忠実さを促す（ヘブライ人への手紙 13:4）。
- 同性愛を实践する男性（ἀρσενικοῖται、アルセノコイタイ；μαλακοί、マラコイ）：
 - ギリシャ語の意味：Arsenokoitai (arsēn、男性、および koitē、ベッドから) は、同性愛行為を行う男性を指し、malakoi は、受動的な役割を担う人、または女々しい生活を送る人を指し、どちらも神の計画に違反するものとして非難されています（レビ記 18:22、ヘブライ語 to'evah 参照）。
 - 背教との関連性：こうした行為は神の秩序に対する反逆を反映しており、背教における真理の拒絶（ローマ 1:26-27）と一致します。誤りの霊は官能を助長する一方（ユダ 1:4）、真理の霊は清さを求めます（第一コリント 6:11）。
- 泥棒（κλέπται, kleptai）：
 - ギリシャ語の意味：kleptēs から派生したもので、盗む者、神の命令に違反する者を意味します（出エジプト記 20:15、ヘブライ語 ganav）。
 - 背教との関連性：盗みは貪欲と神の恵みへの無関心を反映しており、背教へとつながります（デマス、テモテへの第二の手紙 4:10）。誤りの霊は貪欲を煽り（コロサイ人への手紙 3:5）、真理の霊は満足感を育みます（ピリピ人への手紙 4:11）。
- 貪欲（πλεονέκται, pleonektai）：
 - ギリシャ語の意味：pleonektēs から来ており、しばしば他人の犠牲の上に、より多くを望む者を意味し、偶像崇拝に似ています（コロサイ人への手紙 3:5）。
 - 背教との関連性：貪欲は世への愛を駆り立て（第一ヨハネ 2:15）、背教へと導く（ユダ、マタイ 26:15）。誤りの霊は物質主義を助長する一方、真理の霊は寛大さを促す（第二コリント 9:7）。
- 酔っぱらい（μέθυσοι, methusoi）：
 - ギリシャ語の意味：メテュソス（methusos）から来ており、習慣的に酔っぱらって自制心を失う人を意味する（箴言 23:20-21 参照）。
 - 背教との関連性：泥酔は節制の欠如を反映しており、人を欺瞞や背教に陥りやすくする（テモテへの手紙第一 4:1）。誤りの霊は放縦につけ込むが、真理の霊は自制を促す（ガラ

テヤ人への手紙 5:23)。

- ののしり屋 (λοιδόροι, ロイドロイ):
 - ギリシャ語の意味：loidoros から来ており、悪意に基づいて他人を中傷したり、言葉で虐待したりする人を意味します（詩篇 101:5 を参照。中傷はヘブライ語の lashon です）。
 - 背教との関連性：人を罵ることは、神の愛から遠く離れた心を反映しており、背教の不法行為と一致します（マタイ 24:12）。誤りの霊は分裂を煽り（ガラテヤ 5:20）、真理の霊は平和を育みます（ガラテヤ 5:22）。
- 詐欺師 (ἄρπαγες, harpāges):
 - ギリシャ語の意味：harpax から派生したもので、略奪者、強奪者を意味し、多くの場合、欺瞞や暴力によって行われる。
 - 背教との関連性：詐欺は貪欲と不正直を反映しており、背教へとつながります（ペテロ第二 2:3）。誤りの霊は搾取を助長する一方、真理の霊は誠実さを支えます（エペソ 4:28）。

ガラテヤ人への手紙 5:19-21

聖書の本文：「肉の行いは明らかです。それは、淫行、不潔、好色、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、ねたみ、怒り、競争心、分裂、分派、嫉妬、泥酔、乱痴気騒ぎ、その他これらに類するものです。このようなことを行う者は、神の国を受け継ぐことはできません。」（ESV 訳）

分析：

- 性的不道徳 (πορνεία, ポルネイア)：ポルノよりも広義で、あらゆる不法な性行為を含む。ヨハネの黙示録 21 章 8 節を参照。
- 不純物 (ἀκαθαρσία, アカタルシア):
 - ギリシャ語の意味：アカタルトス (akathartos) に由来し、道徳的または霊的な「不潔さ」を意味し、しばしば情欲や偶像崇拝と結びついている（ローマ人への手紙 1 章 24 節参照）。
 - 背教との関連性：不純さは汚れた心を反映しており、背教に陥りやすい（ヘブライ人への手紙 3:12）。誤りの霊は不潔さを助長する（ユダの手紙 1:4）一方、真理の霊は清める（ヨハネの手紙一 1:7）。
- 官能性 (ἀσέλγεια, アセルゲイア):

- ギリシャ語の意味: 「放蕩」または抑制のない放縦を意味し、しばしば性的または道徳的な過剰を指します (ペテロ第二 2:2 参照)。
- 背教との関連性: 官能的な行為は世俗的な欲望への服従を反映しており、背教へとつながります (ユダ 1:4)。誤謬の霊は放縦を煽り、真理の霊は自制を求めます (ペテロ第一 4:3-4)。
- 偶像崇拜 (εἰδωλολατρία、eidōlōlatreia): 黙示録 21:8 を参照。
- 魔術 (φαρμακεία、pharmakeia) : pharmakos に関連し、魔術または薬物による魔術を指す。ヨハネの黙示録 21 章 8 節を参照。
- 敵意 (ἔχθρα、エクトラ):
 - ギリシャ語の意味: 「敵意」または「憎しみ」を意味し、神の愛への呼びかけに反対する (ヨハネの手紙一 3:15 参照)。
 - 背教との関連性: 敵意は神に対する心の頑なさを反映しており、背教へとつながります (マタイ 24:12)。誤りの霊は憎しみを煽り、真理の霊は愛を育みます (ガラテヤ 5:22)。
- 争い (ἔρις、eris) :
 - ギリシャ語の意味: 「争い」または「口論」を意味し、分裂を引き起こす (箴言 17:14、ヘブライ語の midyan を参照)。
 - 背教との関連性: 争いは教会を分裂させ、背教を助長する (コリント人への手紙第一 1:11)。誤りの霊は対立を煽り、真理の霊は一致をもたらす (エペソ人への手紙 4:3)。
- 嫉妬 (ζῆλος、zēlos) :
 - ギリシャ語の意味: 嫉妬や競争心といった否定的な意味での「熱意」を意味する (ヤコブ 3:14 参照)。
 - 背教との関連性: 嫉妬は不満を反映し、背教へとつながります (デマス、テモテへの第二の手紙 4:10)。誤りの霊は嫉妬を煽り、真理の霊は満足感をもたらします (ピリピ人への手紙 4:11)。
- 怒りの発作 (θυμοί、thymoi):
 - ギリシャ語の意味: thymos から来ており、怒りや激怒の爆発を意味します (箴言 22:24、ヘブライ語 'aph を参照)。

- 背教との関連性：怒りは愛を阻害し、背教の不法行為と結びつきます（マタイ 24:12）。誤りの霊は怒りを煽り、真理の霊は平和を育みます（ガラテヤ 5:22）。
- ライバル関係 (ἐριθειαι、エリテイアイ):
 - ギリシャ語の意味: 「利己的な野心」または「派閥主義」を意味し、一致よりも個人的な利益を優先する（フィリピの信徒への手紙 2:3 参照）。
 - 背教との関連性：対立は分裂を招き、背教へとつながる（コリント人への手紙第一 3:3）。誤りの霊は利己心を煽り、真理の霊は謙遜を促す（ピリピ人への手紙 2:4）。
- 意見の相違 (διχοστασίαι, dichostasiai):
 - ギリシャ語の意味: 「分裂」または「分裂」を意味し、交わりを断つこと（ローマ人への手紙 16 章 17 節参照）。
 - 背教との関連性：不和は教会を分裂させ、背教を助長する（ユダ 1:19）。誤りの霊は分裂をまき散らすが、真理の霊は一致をもたらす（コリント第一 12:25）。
- 部門 (αἰρέσεις、ヘアリセイイス):
 - ギリシャ語の意味: 「派閥」または「異端」を意味し、分裂的な教えや集団を指す（ペテロ第二 2:1 参照）。
 - 背教との関連性：分裂は誤った教えを反映しており、背教へとつながります（テモテへの手紙第一 4:1）。誤りの霊は異端を助長し、真理の霊は真理を支えます（ヨハネの手紙第一 4:6）。
- 羨望 (φθόνος、フソノス):
 - ギリシャ語の意味: 「悪意のある嫉妬」、他人に害を及ぼしたいという願望を意味する（マタイによる福音書 27 章 18 節参照）。
 - 背教との関連性：嫉妬は恨みを生み、背教へとつながります（ヤコブ 3:16）。誤りの霊は嫉妬を煽り、真理の霊は愛を育みます（コリント第一 13:4）。
- 泥酔 (μέθαι、メタイ): コリントの信徒への手紙一 6:9-10 を参照。
- 乱交 (κῶμοι、kōmoi):
 - ギリシャ語の意味: 「どんちゃん騒ぎ」または過度の宴会を意味し、しばしば酔っぱらいの宴会と結びついている（ペテロの手紙第一 4:3 参照）。

- 背教との関連性：乱痴気騒ぎは放縦を反映しており、背教へとつながります（ペテロ第二 2:2）。誤りの霊は過剰を助長する一方、真理の霊は節制を求めます（ペテロ第一 5:8）。
- このようなこと：パウロの包括的な表現には、同様の罪が含まれており、根強く悔い改めない行動を強調している。

3. 第 8 章の罪と罪人：コリントの信徒への手紙一 5 章とマタイによる福音書 15～16 章からの洞察

コリント人への手紙第一 5 章

本文：「あなたがたの間には、淫行が行われているという報告があります。…それなのに、あなたがたは傲慢です。むしろ嘆くべきではないでしょうか。…兄弟の名を冠する者であっても、淫行や貪欲、偶像礼拝、中傷、酒飲み、詐欺などの罪を犯している者とは交わってはなりません。…あなたがたの中から悪人を追い出さない」（コリント人への手紙第一 5:1-2、11、13、ESV）。パウロは罪を「パン種」にたとえています。「わずかなパン種が生地全体を膨らませる」（コリント人への手紙第一 5:6、ESV）。

分析：

- 性的な不道徳（πορνεία、ポルネイア）：ガラテヤ人への手紙 5 章 19-21 節を参照。コリント人への手紙第一 5 章 1 節では、特に男性が父親の妻と寝ることを指しており、これは重大な違反行為である（レビ記 18 章 8 節、ヘブライ語 'ervah 参照）。
 - 背教との関連性：このような罪は、悔い改めなければ教会を墮落させ、背教へと導きます（テモテへの手紙第一 4:1）。誤りの霊は不道徳を助長する一方、真理の霊は悔い改めを促します（コリント人への手紙第一 6:11）。
- 貪欲（πλεονέκτης, pleonektēs）: 1 コリント 6:9-10 を参照。
- 偶像崇拜者（εἰδωλολάτρης, eidōlolātrēs）: 黙示録 21:8 を参照。
- 中傷者（λοιδορός, loidoros）: コリントの信徒への手紙一 6:9-10 を参照。
- 酔っぱらい（μέθυσος, メテソス）: コリントの信徒への手紙一 6:9-10 を参照。
- 詐欺師（ἄρπαξ, harpax）: コリントの信徒への手紙一 6:9-10 を参照。
- 酵母（ζύμη, zymē）:

- ギリシャ語の意味：「酵母」を意味し、罪の蔓延する影響、腐敗の拡大を象徴する（出エジプト記 12:15、ヘブライ語 se'or 参照）。
- 背教との関連性：誤った霊に駆り立てられた未解決の罪は、共同体全体を背教へと導く危険性がある（コリント人への手紙第一 5:6）。真理の霊は清さを求めている（コリント人への手紙第一 5:8）。

マタイによる福音書 15～16 章

文章：

- マタイによる福音書 15:7-9: 「この民は口先ではわたしを敬うが、その心はわたしから遠く離れている。彼らがわたしを礼拝するのはむなしい。彼らは人間の戒めを教えとして教えているのだ。」（ESV 訳）
- マタイによる福音書 15:13-14: 「わたしの天の父がお植えになったのではない植物は、すべて根こそぎ抜かれるでしょう。彼らを放っておいてください。彼らは盲人の案内人です。盲人が盲人を案内するなら、両方とも穴に落ちるでしょう。」（ESV 訳）
- マタイによる福音書 23:27-28: 「偽善者である律法学者たち、ファリサイ派の人々よ、あなたがたは災いだ。あなたがたは白く塗られた墓のようだ。外見は美しく見えるが、内側は死人の骨とあらゆる汚れで満ちている。」（ESV 訳）

分析：

- 偽善 (ὕποκριται、ヒポクリタイ):
 - ギリシャ語の意味：hypokritēs から派生したもので、「役者」または「ふりをする者」を意味し、罪を隠しながら義を装う者を指す（詩篇 26:4 参照、ヘブライ語 'al は欺瞞）。
 - 背教との関連性：偽善は神から遠く離れた心を反映しており（マタイ 15:8）、背教の浅薄な信仰と一致します（ルカ 8:13）。誤りの霊は偽善を助長し（ユダ 1:4）、真理の霊は誠実さを求めます（第一ヨハネ 3:18）。
- 偽教師 (τυφλοὶ ὁδηγοί、typhloi hodēgoi):
 - ギリシャ語の意味：文字通り「盲目の案内人」という意味で、神の真理よりも人間の伝統を教え、人々を惑わす人々を指す（マタイによる福音書 15 章 14 節参照）。
 - 背教との関連：偽教師たちは、誤りの霊に駆り立てられ、欺瞞を広め、背教を引き起こします（ペテロ第二 2:1、テモテ第一 4:1）。真理の霊は使徒たちの教えを支えます（ヨハネ

第一 4:6)。

4. 背教と靈的な力との関連性

列挙されたそれぞれの罪は、神の真理を拒絶し、欺瞞、反逆、世俗的な欲望を助長し、背教（テサロニケ第二 2:3）へと導く誤りの靈（pneuma tēs planēs、第一ヨハネ 4:6）と結びついています。真理の靈（pneuma tēs alētheias、ヨハネ 16:13）は、これらに対抗するために、次のようにします。

- イエスを主（キュリオス、コリントの信徒への手紙一 12:3）として告白することを可能にする。
- 真理へと導く（アレーテイア、ヨハネの手紙一 4:6）。
- 神にふさわしい実を結ぶこと（ガラテヤ人への手紙 5:22-23）。
- 神への服従を力づける（ヨハネ 15:4）。

ユダ（マタイ 26:15）、デマス（テモテ第二 4:10）、あるいは「七つの靈」のたとえ話（ルカ 11:24-26）に見られるように、これらの罪を悔い改めずに続けることは、より悪い状態を招く危険性があり、背教の結果を増幅させる。

5. 結論

黙示録 21 章 8 節、マタイによる福音書 7 章 21-23 節、コリントの信徒への手紙一 6 章 9-10 節、ガラテヤの信徒への手紙 5 章 19-21 節、コリントの信徒への手紙一 5 章、マタイによる福音書 15-16 章に列挙されている罪と罪人、すなわち臆病、不信仰、忌まわしい行い、殺人、性的不道徳、魔術、偶像崇拜、嘘、不法、姦淫、同性愛、盗み、貪欲、泥酔、中傷、詐欺、不純、好色、敵意、争い、嫉妬、怒り、競争、不和、分裂、乱痴気騒ぎ、偽善、偽りの教えは、神の真理を拒絶する行動や心の状態を反映しており、神の王国からの排除と背教につながります。原語の用語（ポルネイア、エイドロラトレイア、アノミアなど）は、これらの罪の根深さを明らかにし、神の計画に対する反逆を示しています。誤りの靈はこれらの罪を駆り立て、欺瞞と背教を助長しますが、真理の靈は信者に悔い改め、従順、そして忍耐する力を与え、信仰から離れることを防ぎます（第一ヨハネ 4:1-6）。信者は、これらの罪とその永遠の結果を避けるために、靈を見分け、キリストにとどまり、聖潔を追求しなければなりません。